

事前評価報告書

総合理工学研究機構運営委員会

平成19年10月15日(月)

研究課題	(改題)野生動物による被害の防除に関する研究	
研究期間	平成20年度～22年度	
	評価項目	平均点
	1 研究の背景	3.6
	2 研究目的の的確性	3.4
	3 研究内容の合理性・新規性	2.8
	4 研究予算の妥当性	3.2
	5 目的達成の可能性	3.0
	6 期待される研究成果	3.4
	7 予備研究の状況	3.4
	8 総合評点	3.2
<p>鳥獣による農林水産被害は深刻な問題であり、防除策の開発、改善が求められている。先行する研究では、カワウの孵化阻止手法を確立するなどの成果が上がっている。今回の研究では、サルによる被害に対するモンキードックと電気柵の防除効果やシカの生息密度推定へのラインセンサス法の有効性などが検証される。その結果、より有効な防除策の実現に結びつくことが期待される。この研究に当たり、人と野生動物との関わりに及ぼす気候変動の影響についても、調査・分析を行うことを望む。</p>		